

天使大学大学院 看護栄養学研究科

TENSHI COLLEGE GRADUATE SCHOOL OF
NURSING AND NUTRITION

2024



愛をとおして真理へ

看護学専攻(修士課程)

栄養管理学専攻(博士前期課程／博士後期課程)



天使大学



看護栄養学研究科

〔看護学専攻(修士課程)／栄養管理学専攻(博士前期課程・博士後期課程)〕

教育理念

天使大学大学院看護栄養学研究科は、カトリック教育機関として「**愛をととして真理へ**」を建学の精神としています。本研究科はこの建学の精神のもと、看護学・栄養学の各専門分野における高度な専門職業人、教育や専門分野のリーダーとなる人材を育成するとともに、人間の「健康」と「生活」の支援に共通する「看護」と「栄養」を組み合わせた学修を通して、地域住民の保健・医療・福祉の発展に寄与します。

教育目的

天使大学大学院看護栄養学研究科は、教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、学術の理論及び応用を教授研究し、建学の理念であるカトリック精神に基づく「**愛をととして真理へ**」に生き、知的、専門的及び応用的能力を発揮して、人間愛をもって社会の発展に寄与する高度専門職業人を育成することを目的とします。

人材養成に関する目標を次のとおり定めます。

- (1) 看護学専攻修士課程においては、看護学に係る最新の知見と高度な専門技術を学修し、保健医療福祉分野の発展に貢献できる高度な専門性を有する人材を育成する。
- (2) 栄養管理学専攻博士前期課程においては、栄養管理学に係る最新の知見と高度な専門技術を学修し、保健医療福祉分野の発展に貢献できる高度な専門性を有する人材を育成する。
- (3) 栄養管理学専攻博士後期課程においては、栄養管理学に係る先端的教育及び研究を行うことにより栄養管理学の高度の専門知識と技術を教授し、自立して研究活動を行い、卓越した教育上の指導能力を有する人材を育成する。

入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

看護学専攻

1. 専門分野の基礎的な知識と技術を有する人
2. 高度な専門職業人として専門分野の発展や社会に貢献する意欲のある人
3. 人間として専門職業人としての倫理観を有する人
4. 専門的なコミュニケーション能力の向上を目指す人
5. 論理的思考と柔軟な発想、グローバルな視点を持って探究できる人
6. キリスト教の人間観に基づく人間愛の実践を志す人

栄養管理学専攻【博士前期課程】

1. 栄養学分野の発展に貢献したい人
2. 栄養管理を行う高度な専門職業人として社会貢献を志す人
3. 栄養管理を行う高度な専門職業人としての高い倫理観を探究したい人
4. 栄養管理に関わる専門的なコミュニケーション能力の向上を目指す人
5. キリスト教の人間観に基づく人間愛の実践を志す人

栄養管理学専攻【博士後期課程】

1. 栄養学分野の発展に貢献できる基礎的な能力を備えている人
2. 栄養管理を行う高度な専門職業人として社会貢献を行う意思のある人
3. 栄養管理を行う高度な専門職業人としての高い倫理観を備えている人
4. 栄養管理に関わる専門的なコミュニケーション能力を備えている人
5. キリスト教の人間観に基づく人間愛の実践を志す人



看護栄養学研究科長
日沼 千尋

天使大学大学院看護栄養学研究科は、高い倫理観と高度な専門知識を有し看護栄養学の発展と社会貢献を目指す高度専門職業人・研究者の育成を図ります。

超少子高齢社会の到来、COVID-19のパンデミック、生活習慣病の増加、災害の頻発など、社会の変化に伴い、人々の健康ニーズは多様化し、より高度な看護や栄養管理の実践者、研究者、教育者が社会的に求められるようになってきました。天使大学大学院看護栄養学研究科は、このような時代のニーズに適うリーダーとなる人材の育成をめざしており、看護学・栄養学の発展ならびに社会貢献を志す方々の入学を歓迎いたします。

看護学専攻修士課程には3つのコースがあり、修士論文コースは基礎看護学・成人看護学・老年看護学・母性看護学・小児看護学・精神看護学・公衆衛生看護学の7つの領域からなっています。高度実践看護師コースには専門看護師の教育機関の認定を受け、高度実践

看護師を目指すホスピス緩和ケア看護学領域、老年看護CNS領域、精神看護CNS領域、在宅看護CNS領域があり、さらに高度な実践力を身につけた保健師を養成する保健師コースが開設されています。これらの課程を修了し高度な看護実践力や研究能力を身につけた修了生は、保健、医療の現場で高い能力を発揮するとともに大学教育に携わる機会も増えています。

栄養管理学専攻は修業年限2年の博士前期課程と修業年限3年の博士後期課程からなっており、博士前期課程修了者には栄養学の専門分野における研究成果を学位論文としてまとめることで修士(栄養学)の学位が授与されます。また、栄養教諭一種免許状を持って入学した方は栄養教諭専修免許状を取得可能です。博士後期課程では、栄養学の基礎領域に関わる教育および研究を遂行できる能力の育成、実践的な栄養学の展開を通して地域や医療の現場に貢献する人材を育成することを目的としています。さらに、仕事を持ちながら学ぶ向学精神にあふれた学生を支援するために平日の夜間や土曜日に大学院講義を開講する制度である長期履修制度も設けています。

天使大学はカトリック大学として建学された背景から、キリスト教の人間観に基づいた高い倫理観と高度な専門知識を有する専門職業人の育成に関わってきました。大学院においても、高潔な人間性と豊かな感性をもち、専門分野の発展ならびに社会貢献を志す人間愛にあふれた人材が多数輩出されることを望んでいます。

INDEX

看護学専攻	
修士課程	03
【修士論文コース】	03
■基礎看護学領域	
■成人看護学領域	
■老年看護学領域	
■母性看護学領域	
■小児看護学領域	
■精神看護学領域	
■公衆衛生看護学領域	
【高度実践看護師コース】	06
■ホスピス緩和ケア看護学領域	
■老年看護CNS領域	
■精神看護CNS領域	
■在宅看護CNS領域	
【保健師コース】	09
栄養管理学専攻	
博士前期課程	11
博士後期課程	14
論文テーマ	15
教員紹介	16
働きながら大学院に通いたい方へ就職先	
長期履修学生制度	17
学費・奨学金	18

看護学専攻

修士課程

- 修士論文コース
- 高度実践看護師コース
- 保健師コース

〈修業年限〉2年 〈学位〉修士(看護学) 〈入学定員〉14名

修士論文コース

ディプロマ・ポリシー

- ・キリスト教の人間観を基盤に看護の理念に基づく倫理観をもって、実践・管理・教育・研究ができる。
- ・専門分野の高度な知識・技術を修得し、理論・分析・評価力をもち専門性の高い看護実践ができる。
- ・グローバルな視点を持ち、国内外の研究成果を取り入れ、看護実践・研究・教育に貢献できる。
- ・ケアの質向上のためにシステムを評価し、解決に向けて多職種と連携・協働し、環境を調整できる。
- ・専門分野の課題を洞察し、適切な方法を選択し成果をまとめる基礎的研究能力を身に付けている。

カリキュラム・ポリシー

- ・専門性の異なる院生の共通の学修の場をとおして、研究や実践の基礎となる理論や学問を学び、総合的な視野をもった実践の基礎的能力を修得するために、両専攻共通科目を配置した。
- ・高度専門職としての看護の実践と研究、教育を推進できる基礎的能力を養うために、看護理論、看護倫理、看護研究、看護教育、看護管理などの専門共通科目を配置した。
- ・高度専門職としての専門基礎となる知識・技術を修得するために、広範囲な学問領域にわたり必要な科目を専門基礎科目として配置した。
- ・専門領域における高度な看護実践や研究に必要な能力を養うことを目的に各専門領域に特論、演習科目を配置し、看護実践やエビデンスを追求し、学修を深める。
- ・高度専門職として看護の責務を遂行するために、自己の課題を見出し、主体的・継続的に学び、科学的に探究する研究の基礎的能力を修得するために、特別研究を行う。

基礎看護学領域

実践の科学である看護学を看護の基本概念から捉え直し、看護とは何か、看護実践とは何かを明確にすることを目指します。看護の臨床現場や看護学生・新人看護師を育成する臨床教育の場に埋め込まれている看護現象の省察を通して、看護の本質に触れながら、看護の対象者の理解、質の高い看護実践および看護技術の探求、実践知への理解を学びます。修士論文では、看護実践の中に立ち現れる様々な疑問、戸惑いなどについて、個々の関心に応じた探究を行います。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込み可)。

※長期履修学生制度の利用ができます。

成人看護学領域

社会の変化や医療技術の進歩を背景に、急性期、危機的状況、慢性期、終末期など様々な健康問題を持つ人々が増えています。そのような人々には専門的な看護が必要とされており、そのニーズに応えるべく、各々の健康問題を持つ成人期にある人々とその家族を対象とするのが成人看護学領域です。個々の健康問題に有効な看護実践を行うための諸理論・概念と看護介入モデルを学びます。臨床での疑問を大切に、ゼミやフィールドワークを通して、理論やモデルなどの看護実践での適用を実践的に学び、個々の関心に応じた研究テーマを探究します。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込み可)。

※長期履修学生制度の利用ができます。

老年看護学領域

超高齢社会の日本では、社会保障制度や医療制度の改革等高齢者に関わる喫緊の諸問題がある中、住み慣れた地域でその人らしさを保ちながら人生の終焉を迎えることも課題であります。老年看護は医療機関、施設、地域(自宅)と幅広い場所で提供されることから、研究や実践も広い視野からの探求が求められます。当領域では、様々な生活の場で暮らす高齢者への看護のあり方について、国内外の研究文献のクリティークを行い、各自でテーマを絞って探究していきます。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込み可)。

※長期履修学生制度の利用ができます。

母性看護学領域

女性と母子、その家族の健康と安全、周産期のリスクの予防、正常性を維持・促進するための看護ケアを検討します。また、ハイリスクにある周産期の女性と母子、その家族がかかえる問題を統合的に捉え、対象者の経験や意思を尊重しながら、健康で安全なくらしにつながる個別的なケアを検討します。女性と母子、その家族をめぐる環境が多様に変化し、複雑化していく中で生じる新たな看護課題を捉え、対応していくための感性和科学的思考力、研究能力を養います。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込み可)。

※2024年度入学生については募集いたしません。

小児看護学領域

少子化が進む我が国において、核家族の増加や片親家族の増加、育児不安等、子どもが育つ環境がこれまで以上に変化し、虐待や子どもの貧困、子どもの心の病気など子どもの育ちの課題が増えている。小児看護領域では、子どもに視点をおき、子どもが健康に育つということ、子どもの自己決定や権利を中心に、医療機関、施設、在宅における看護を議論しながら、各自のテーマを探究していきます。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込み可)。

※長期履修学生制度の利用ができます。

精神看護学領域

こころの健康問題を持った人が困難な時期を乗り越え、その人らしさを取り戻して生活していくために、どのような支援ができるかを考えます。こころの健康問題は、家庭、学校、職場、そしてあらゆる生活の場で生じます。身体の問題に伴ってこころの問題が生じることもあります。私たちは、看護の立場からこの問題にどのように取り組むことができるでしょうか。自分が取り組む問題の焦点を明らかにし、適切な方法を選んで研究のプロセスをたどり、修士論文を完成します。取り組む問題は、実践、教育、研究いずれでも可能です。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込み可)。

※長期履修学生制度の利用ができます。

公衆衛生看護学領域

地域社会が大きく変化するのに伴って、新たな健康課題に対応できる人材、住民のニーズに基づき、かつ地域特性を生かした健康政策を推進できる行政能力を備えた人材を育成します。本コースは、公衆衛生看護における学識を深め、科学的思考力と研究能力を養い、豊かな人間性に裏付けられた高度な看護専門職業人として保健師をキャリアアップします。本コースに出願するには**看護師**及び**保健師の免許**が必要です(取得見込み可)。

※長期履修学生制度の利用ができます。

カリキュラム

区 分		科 目	
看護学・栄養管理学 両専攻共通科目		倫理学特論 人間関係論特論 研究方法論特論 統計学特論 疫学	地域ケアシステム論 健康行動科学特論 医療情報・医療経済 国際保健学特論 国際保健学特論演習
看護学専攻 共通基礎科目		看護理論特論 看護倫理特論 看護研究法Ⅰ(量的研究) 看護研究法Ⅱ(質的研究) 看護教育学特論Ⅰ	看護教育学特論Ⅱ 看護管理学特論 家族関係論特論 コンサルテーション論
専門基礎科目		病態生理学 臨床薬理学 保健医療福祉政策論 保健医療福祉行政論 疫学・保健統計特論	ヘルスカウンセリング論 代謝栄養学特論 環境保健学 健康社会学 医療人類学特論
専門分野 専門科目	基礎看護学領域	基礎看護学特論Ⅰ 基礎看護学特論Ⅱ	基礎看護学演習Ⅰ 基礎看護学演習Ⅱ
	成人看護学領域	成人看護学特論Ⅰ 成人看護学特論Ⅱ	成人看護学演習Ⅰ 成人看護学演習Ⅱ
	老年看護学領域	老年看護学特論Ⅰ 老年看護学特論Ⅱ	老年看護学演習Ⅰ 老年看護学演習Ⅱ
	母性看護学領域	母性看護学特論Ⅰ 母性看護学特論Ⅱ	母性看護学演習Ⅰ 母性看護学演習Ⅱ
	小児看護学領域	小児看護学特論Ⅰ 小児看護学特論Ⅱ	小児看護学演習Ⅰ 小児看護学演習Ⅱ
	精神看護学領域	精神看護学特論Ⅰ 精神看護学特論Ⅱ	精神看護学演習Ⅰ 精神看護学演習Ⅱ
	公衆衛生看護学領域	公衆衛生看護学特論Ⅰ 公衆衛生看護学特論Ⅱ	公衆衛生看護学演習Ⅰ 公衆衛生看護学演習Ⅱ
		特別看護研究	

〈修了要件〉30単位以上

本コースにおけるこれまでの論文テーマについては15ページをご覧ください。



修了生

看護学専攻
成人看護学コース 2022年3月修了
(天使大学看護栄養学部看護学科 卒業)

所属
天使大学看護栄養学部
看護学科 助教

看護の奥深さを実感し意義のある毎日でした

大学卒業後にはがん専門病院で臨床経験を経て子育てをしながら実習指導教員として学生の指導を行っていました。この経験を活かし、がん看護や教育に関する学びをさらに深めたいと思い大学院の成人看護学コースへ進みました。

学業に専念することは学部生以来で、研究に関しても臨床で触れてはいたものの、ほぼゼロからのスタートでした。そのため、学んだことを自分のものにできるのか不安はありましたが、臨床で何気なく行っていた看護実践が理論に基づいていと繋げることができたり、また、看護の研究論文にたくさん目を通すことが論文の構造を理解しながら読む訓練になると同時に、様々な視点から看護の研究が行われていることを知り、看護の奥深さを実感し興味を持って学ぶことができました。また、自身の研究を進めるうえで思いや意図を言語化することは、苦しい作業でもありましたが、指導教員の先生方から湧き出る言葉の数と本質をとらえる言葉の使い方はとても勉強になるものでした。大学院の2年間は大変意義のある毎日だったと実感しています。この学びを学生に還元し、今後も教員、研究者として力を伸ばしていきたいと思っています。

高度実践看護師コース

高度実践看護師(専門看護師)教育機関

専門看護師(Certified Nurse Specialist)制度の目的と教育課程

専門看護師制度は、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識・技術を深めた専門看護師を社会に送り出すことにより、保健医療福祉の発展に貢献し併せて看護学の向上をはかることを目的としています。(日本看護協会HP参照)

専門看護師教育課程は、保健・医療・福祉現場において、複雑な健康問題を有する患者にケアとキュアを統合し、卓越した直接ケアを提供するとともに、相談、調整、倫理調整、教育、研究を行い、ケアシステム全体を改善することで、看護実践を向上させる高度実践看護師を養成する教育課程です。(一般社団法人日本看護系大学協議会高度実践看護師教育課程認定規程参照)

多数の修了生が
「専門看護師」
として活躍しています。

これまでに看護学専攻ホスピス緩和ケア看護学コース修了生19名が「がん看護専門看護師(CNS)」に認定されています。主に札幌市内のがん診療連携拠点病院で活躍しています。なお、老年看護CNS領域は2019年度、精神看護CNS領域は2020年度に、在宅看護CNS領域は2023年度に開設しました。

ディプロマ・ポリシー

- ・キリスト教的人間観に基づく全人的ケアを実践できる。
- ・各専門分野における倫理的配慮意思決定支援ができる。
- ・専門的なエビデンスに基づく実践・相談・教育ができる。
- ・高度なコミュニケーション能力に基づく多職種連携・調整することができる。
- ・組織変革・政策提言に必要な変化エージェントの役割意識を有している。
- ・基本的な研究能力を有し、課題研究を今後の実践に結び付けて説明できる。

カリキュラム・ポリシー

- ・共通科目A群は、看護の実践と研究・教育の基盤となる能力を養うために、看護理論特論、看護倫理特論、看護研究、看護教育特論、看護管理特論、コンサルテーション論を配置した。
- ・共通科目B群は、専門分野の実践の根拠となる基礎的知識の修得のために、基礎科目として、病態生理学、フィジカルアセスメント、臨床薬理学を配置した。
- ・専門分野の専門科目は、専門分野の基礎科目、専門科目における高度な知識・技術・態度を修得し、実践において統合するために専門領域の臨地実習を行う。
- ・課題研究は、専門領域特有の課題を研究し、学位論文としてまとめる科目である。

ホスピス緩和ケア看護学領域 〈取得可能資格〉がん看護専門看護師 受験資格

学士課程で展開した看護学教育を基礎としながら、ホスピス緩和ケア分野で高度実践看護師を養成します。「高度実践看護師」とは、高度な実践・相談・教育・調整・協働・コミュニケーション・倫理的判断・研究を行う能力を持ち、チーム医療の核となって包括的なケアをマネジメントし、その専門領域においてリーダーの役割を果たす看護師のことです。本コースに出願するためには、**看護師免許を有し、3年以上の看護実務経験**が必要です。
※長期履修学生制度の利用ができます。

老年看護CNS領域 〈取得可能資格〉老人看護専門看護師 受験資格

超高齢社会の中で、保健医療福祉の場における高齢者への質の高いケアの提供をしていくためには、高度な看護を実践できる看護師の育成が不可欠です。本コースは複雑な健康問題を抱える高齢者に対して、ケアとキアを統合した看護実践能力を提供する高度実践看護師を養成する教育課程です。ここでは専門看護師として必要な実践は勿論ですが、教育、相談、調整、研究、倫理について学んでいきます。本コースに出願するには、**看護師免許を有し、3年以上の看護実務経験**が必要です。
※長期履修学生制度の利用ができます。

精神看護CNS領域 〈取得可能資格〉精神看護専門看護師 受験資格

保健・医療・福祉現場で必要とされる看護について、精神看護の観点から、心身両面に関する知識と技術を教授します。複雑な健康問題を有する患者にケアとキアを統合し、卓越した直接ケアを提供するとともに、相談、調整、倫理調整、教育、研究を行い、ケアシステム全体を改善することで、看護実践を向上させる高度実践看護師を養成します。本コースに出願するには、**看護師免許を有し、3年以上の看護実務経験**が必要です。
※長期履修学生制度の利用ができます。

在宅看護CNS領域 〈取得可能資格〉在宅看護専門看護師 受験資格

疾患や障がいを抱え在宅で療養生活を送る対象者と家族が、個々の生活の場で日常生活を送りながら在宅療養を続けるためには、地域包括ケアから地域共生社会へ向け、既存のケアサービス事業所および多職種との連携が欠かせません。在宅看護・ケアの質向上を目指し、専門看護師の6つの役割（卓越した看護実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究）を果たし、ケアとキアを統合した支援ができる高度実践看護師を養成します。本コースに出願するには、**看護師免許を有し、3年以上の看護実務経験**が必要です。
※長期履修学生制度の利用ができます。

がん看護専門看護師として活動する修了生



社会医療法人 楨心会 札幌楨心会病院

緩和ケアチームの看護師として勤務しています。症状緩和に関する薬剤調整や精神的苦痛への介入などの依頼に対して、速やかに対応が図れるようチーム内・多職種間の調整を行っています。

在宅ホスピス専門の診療所に在籍し、地域の訪問看護師さんの訪問に同行するなど、連携の強化とケアの質向上に取り組んでいます。また緩和ケア外来を訪れる患者さんの療養について医師・MSWと協働して支援しています。



医療法人 徳洲会 在宅緩和ケア診療所
ホームケアクリニック 札幌

がん患者家族や医療スタッフから相談を受けた方の心身のつらさへの対応や治療方針や今後の過ごし方を決めるための支援などを行っています。活動の際には、医療スタッフとのケア協働を意識しスタッフへの教育支援も兼ねて行っています。



社会医療法人 社団 カレスサッポロ 時計台記念病院・クリニック

※MSW 医療ソーシャルワーカー

カリキュラム

区分		科目	
看護学・栄養管理学 両専攻共通科目		倫理学特論 人間関係論特論 研究方法論特論 統計学特論 疫学	地域ケアシステム論 健康行動科学特論 医療情報・医療経済 国際保健学特論 国際保健学特論演習
看護学専攻 共通基礎科目		看護理論特論 看護倫理特論 看護研究法I(量的研究) 看護研究法II(質的研究) 看護教育学特論I	看護教育学特論II 看護管理学特論 家族関係論特論 コンサルテーション論
専門基礎科目		フィジカルアセスメント 病態生理学 臨床薬理学 保健医療福祉政策論 ヘルスカウンセリング論	代謝栄養学特論 環境保健学 健康社会学 医療人類学特論
ホスピス緩和ケア 看護学領域	専門分野 専門科目	ホスピス緩和ケア看護学特論I ホスピス緩和ケア看護学特論II ホスピス緩和ケア看護学特論III ホスピス緩和ケア看護学特論IV ホスピス緩和ケア看護学特論V ホスピス緩和ケア看護学演習I	ホスピス緩和ケア看護学演習II ホスピス緩和ケア看護学演習III ホスピス緩和ケア看護学実習I ホスピス緩和ケア看護学実習II ホスピス緩和ケア看護学実習III
		ホスピス緩和ケア看護課題研究	
老年看護CNS領域	専門分野 専門科目	老年看護学特論I(理論・概念) 老年看護学特論II(健康生活評価) 老年看護学特論III 老年看護学特論IV 老年看護学特論V	老年看護学展開論I 老年看護学展開論II 老年看護学実習I 老年看護学実習II
		老年看護課題研究	
精神看護CNS領域	専門分野 専門科目	精神看護学特論I 精神看護学特論II 精神看護学特論III 精神看護学特論IV 精神看護学演習I 精神看護学演習II	リエゾン精神看護学特論 高度実践精神看護実習I 高度実践精神看護実習II 高度実践精神看護実習III 高度実践精神看護実習IV 高度実践精神看護実習V
		精神看護課題研究	
在宅看護CNS領域	専門分野 専門科目	在宅看護学特論I 在宅看護学特論II 在宅看護学特論III 在宅看護学特論IV 在宅看護学演習I 在宅看護学演習II	在宅看護学演習III 高度実践在宅看護学実習I 高度実践在宅看護学実習II 高度実践在宅看護学実習III 高度実践在宅看護学実習IV 高度実践在宅看護学実習V
		在宅看護課題研究	

〈修了要件〉必修科目38単位

本コースを修了することにより、日本看護協会が行う認定審査の受験資格を得ることができます。

本コースにおけるこれまでの論文テーマについては15ページをご覧ください。

| 保健師コース |

保健師コース

〈取得可能資格〉保健師国家試験受験資格

本コースにおける所定の単位を修得し、学位論文審査および最終試験に合格すると、**修士(看護学)**の学位が与えられ、**保健師国家試験受験資格**を取得することができます。本コースに出願するには、**看護師の免許**が必要です(取得見込も可)。
※長期履修学生制度の利用はできません。

地域で暮らす人々の健康と生活を護るために高い実践力を備え、
分析力・研究力、政策提言に優れた保健師を養成します。

保健師教育の質の向上が求められています

急速な少子高齢化や疾病構造の変化、地方分権の進展などの社会の変化に伴い、保健師には多様で複雑困難な健康課題を解決する公衆衛生看護の高い実践力が求められています。社会のニーズに応じ地域の課題を解決するための施策を展開する分析力と政策形成力のほか、自然災害や感染症といったあらゆる健康危機に対応する能力を強化する必要性がより一層高まり、2022年度からは指定規則改正に伴い保健師の資格取得に必要な単位数がさらに増加しました。天使大学では、あらゆる健康課題に対応できる能力の獲得を目指し、より充実した教育を提供するため大学院に保健師教育課程を設置しています。保健師として自信を持って働くために大学院への進学をお勧めします。

専門性の高い実践力を身に付けた保健師を養成します

地域の健康課題は複雑化し、生活習慣病、介護予防、児童虐待、メンタルヘルス、感染症、自然災害、健康格差など様々な対策が求められています。保健師には、これらの課題に取り組み立ち向かうための高度な知識と技術が必要であり、「個人・家族、集団を支援する力」と同時に、人々の健康課題の背景にある地域の課題を分析し、住民とともに解決する「地域を支援する力」の両方の実践力が求められます。大学院は2年間で、講義、演習、実習、研究を積み上げ、理論と実践を統合させ、現場の課題を探究できる実践力・研究力のある保健師を養成します。

ディプロマ・ポリシー

- ・キリスト教の人間観を基盤に、公衆衛生看護専門職としての倫理観を備え、公衆衛生看護実践ができる。
- ・科学的根拠と文化的感受性をもってコミュニティの健康と環境の課題を明らかにできる。
- ・人々の健康増進能力を高め、複雑な健康課題の解決のために関係者と連携・協働してマネジメントできる。
- ・グローバルな視点で将来を見据えて地域ケアシステムを評価し、政策を提言できる。
- ・保健師の責務を遂行するための科学的論理的思考、基礎的研究能力を備え、公衆衛生看護の課題解決に自ら取り組むことができる。



カリキュラム・ポリシー

- ・キリスト教の人間観と公衆衛生看護の理念、看護職としての倫理観のもと公平な看護を自律して実践できる保健師の養成に必要な科目を主体的に学習するプログラムを提供する。
- ・人々の健康を多面的にとらえ科学的根拠をもって分析できる力を育成するために、公衆衛生大学院のグローバルスタンダードとされる分野を網羅する専門基礎科目を提供する。
- ・個人・家族、集団に対する基礎的支援能力を強化するために、援助過程を論理的に思考し、専門性の高い実践に必要な科目を設定し、実習のプログラムを提供し実践能力を獲得する。
- ・地域特性に応じた看護活動を展開できるようになるために、演習と実習を段階的に配置し、地区活動を通して解決に向けた取り組みを住民と協働して実施するプログラムを提供する。
- ・保健師としてグローバルな視点で地域の将来を見据え、人々の健康と生活を護るための社会資源の開拓やケアシステム構築、政策提言できる能力を育成するプログラムを提供する。
- ・保健師としての責務を遂行するために専門性を高め、自己の課題を見出し主体的・継続的に学び、科学的に探究する能力を育成するために、公衆衛生看護課題研究を提供する。

カリキュラム

区分		科目	
看護学・栄養管理学 両専攻共通科目		倫理学特論 人間関係論特論 研究方法論特論 統計学特論 疫学	地域ケアシステム論 健康行動科学特論 医療情報・医療経済 国際保健学特論 国際保健学特論演習
看護学専攻 共通基礎科目		看護理論特論 看護倫理特論 看護研究法Ⅰ(量的研究) 看護研究法Ⅱ(質的研究) 看護教育学特論Ⅰ	看護教育学特論Ⅱ 看護管理学特論 家族関係論特論 コンサルテーション論
専門基礎科目		保健医療福祉政策論 保健医療福祉行政論 疫学・保健統計特論 ヘルスカウンセリング論	代謝栄養学特論 環境保健学 健康社会学 医療人類学特論
専門分野 専門科目	保健師コース	公衆衛生看護学特論Ⅰ 公衆衛生看護学原論 公衆衛生看護活動論Ⅰ 公衆衛生看護活動論Ⅱ 健康学習支援特論 家族看護学特論 公衆衛生看護診断 公衆衛生看護管理	健康危機管理特論 産業・学校保健活動論 地域ケアシステム論特論 公衆衛生看護課題研究演習 家族看護継続実習 公衆衛生看護活動実習 公衆衛生看護管理実習Ⅰ 公衆衛生看護管理実習Ⅱ
		公衆衛生看護課題研究	

〈修了要件〉61単位(30単位(修士課程修了に必要な単位)+31単位(保健師国家試験受験資格取得に必要な単位))



修了生

看護学専攻
保健師コース2020年3月修了
(天使大学看護栄養学部看護学科 卒業)

所属
栗山町 住民保健課 健康推進グループ

豊かな学びができた2年間でした

天使大学学部生の頃、保健師という地域の身近な存在でライフサイクルを通して住民へ関わる仕事に興味を持ちました。保健師資格が取得できる進学先を調べる中で、実践的なカリキュラムはもちろん、豊かに専門科目や研究が学べる大学院に魅力を感じて進学しました。

大学院では、他大学から保健師コースへ進学してきた方、社会人経験をした他コースや栄養管理学専攻の院生とも講義・研究などで刺激を受けました。また、実習地の保健師を始め、保健所や市町村、企業や学校等多様な場で活躍する保健師の方々から様々な活動を見聞することができました。課題研究では、実習や講義で女性のライフスタイルの変化に興味をもち、高齢出産をした女性の育児をテーマにインタビューを行い、分析に四苦八苦しながらも、論文にすることができました。大学院ではたくさんの人に助けられて、充実した時間を送りました。

大学院での学びの中で、顔の見える保健活動ができ、町全体の保健事業に関わりたいと思い栗山町に就職しました。多様に変化する社会で暮らしている人々の健康を支えるため、大学院での学びを基に、地域と向き合いながら保健活動を行いたいと思います。

本コースにおけるこれまでの論文テーマについては15ページをご覧ください。

栄養管理学専攻

博士前期課程

博士後期課程

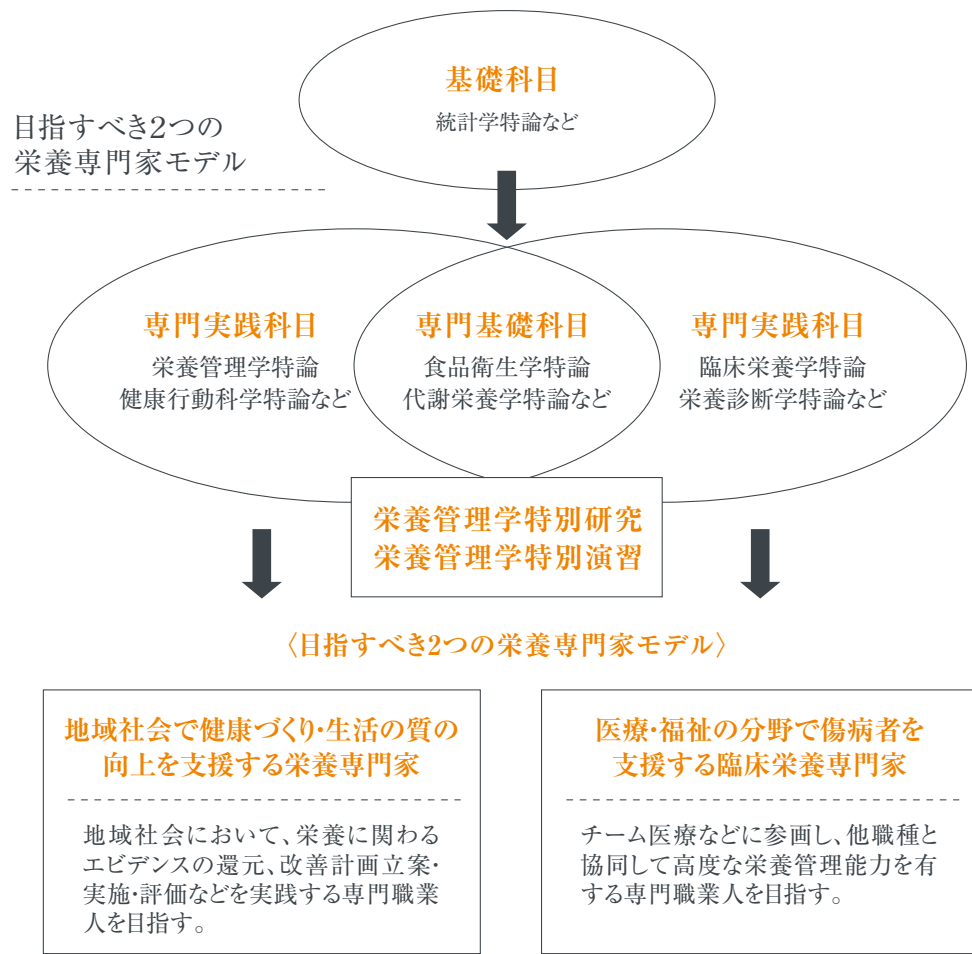
博士前期課程〈修業年限〉2年 〈学位〉修士(栄養学) 〈入学定員〉3名

博士後期課程〈修業年限〉3年 〈学位〉博士(栄養学) 〈入学定員〉2名

博士前期課程

〈取得可能資格〉栄養教諭専修免許状(選択)

学士課程で展開した栄養学教育を基礎としながら、「**人間栄養学**」のエビデンス(科学的根拠)に基づいたシステマティックな栄養管理を実践できる卓越した専門性を有する管理栄養士の育成を目指します。本課程に出願するためには**栄養士免許**が必要です(取得見込みも可)。
※長期履修学生制度の利用ができます。



ディプロマ・ポリシー

- ・キリスト教的人間観を基盤に倫理的な配慮を行い、人間の「健康」と「生活」の支援に必要な基礎知識を身に付け保健・医療・福祉に応用できる。
- ・栄養学の専門分野における問題についてグローバルな視点を持って主体的に探究し、連携・調整を図りながら問題解決方法を考えることができる。
- ・栄養学の専門分野における高度な知識を身に付け、研究および栄養管理の実践に適用できる。
- ・栄養学の専門分野における課題について、適切な研究方法を選択し、研究成果としてまとめる事ができる。

カリキュラム・ポリシー

- ・キリスト教的人間観を基盤にした倫理的な配慮を身に付けるために、両専攻共通科目である倫理学特論、人間関係論特論を配置した。
- ・人間の「健康」と「生活」の支援に必要な学修を通して、地域の保健・医療・福祉の現状について議論できるだけの知識を身に付けるために、医療情報・医療経済、地域ケアシステム論、環境保健学、健康社会学、医療人類学特論を設置した。
- ・グローバルな視点を持つこと、連携・調整を図ることの重要性を学ぶために、健康行動科学特論、ヘルスカウンセリング論、国際保健学特論、国際保健学特論演習を配置した。
- ・専門分野での実践と研究を支える科目を開設し、統計学や疫学の基礎理論を身に付け、主体的に探究し研究する方法を学ぶために、統計学特論、疫学、研究方法論特論を配置した。
- ・食品と栄養に関わる問題を解決するうえで必要とされる高度な知識を身に付け、研究専門分野への応用実践力を養うために、食品衛生学特論、代謝栄養学特論、栄養管理学特論、健康・食行動理論、臨床栄養学特論等の専門基礎科目・専門実践科目を配置した。
- ・栄養学の専門分野の知識を深め、それを応用し演習・研究を行い、自ら問題解決を行う能力と研究能力を養うために、栄養管理学特別研究、栄養管理学特別演習を配置し、個別指導体制の充実を図る。加えて、リサーチ・ループリックを導入し、学生の自己評価と主任指導教員と副指導教員の評価をすり合わせることで、改善点や課題を明確にする機会を設ける。

カリキュラム

区分	科目		
基礎科目	倫理学特論 統計学特論 疫学	人間関係論特論 研究方法論特論 医療情報・医療経済	国際保健学特論 国際保健学特論演習
専門基礎科目	食品衛生学特論 食品機能学特論 栄養生理学特論	代謝栄養学特論 地域ケアシステム論 ヘルスカウンセリング論	環境保健学 健康社会学 医療人類学特論
専門実践科目	栄養管理学特論 栄養疫学特論 健康行動科学特論	健康・食行動理論 健康栄養エビデンス論 栄養診断学特論	臨床栄養学特論 栄養管理学特別研究 栄養管理学特別演習

〈修了要件〉30単位以上



在学生

栄養管理学専攻
博士前期課程 2年次
※札幌市内の透析クリニック
栄養部に勤務

これまでの経験を未来の自分につなげたい

大学卒業後、管理栄養士として透析クリニックで透析患者さんの栄養指導業務、給食管理業務を行ってきました。勤続20年を迎える頃、後輩管理栄養士の指導や臨床現場以外のお仕事も多くやっていく中で、自分のこれまでの経験を未来につなげるために、自分で研究として形に残せる力をつけなくては、と考えるようになりました。それまでも研究は行っていましたが、ゼロから自分で作り上げるという経験はありませんでした。患者さんへの栄養指導はもちろん、後輩への指導をしっかりと行っていくためにも、研究を自分のものとして進められる力をつけたいと思い、大学院進学を決めました。

実際に大学院では、学生時代とはまた違う専門的な知識を詳しく、より学術的に教えていただけるため、大変貴重な時間となっています。このまま過ごしていたら決して得られなかった知識や先生方との出会い、すべてが貴重な経験となっています。現在は新しい透析クリニックで勤務しながら、大学院での研究を進めています。新しい環境での新しい発見、学びに感謝です。働きながらの通学は大変ですが、それ以上に楽しみも多く過ごしています。

本課程におけるこれまでの論文テーマについては15ページをご覧ください。

教職課程（栄養教諭専修免許状）

食生活を取り巻く社会環境が大きく変化し、食生活の多様化が進む中で、朝食をとらないなど子どもの食生活の乱れが指摘されており、子どもが将来にわたって健康に生活していけるよう、栄養や食事のとり方などについて正しい知識に基づいて自ら判断し、食をコントロールしていく「食の自己管理能力」や「望ましい食習慣」を子どもたちに身につけさせることが必要となっています。

このため、食に関する指導（学校における食育）の推進に中核的な役割を担う栄養教諭は、地方公共団体や設置者によって配置され、食に関する指導と給食管理を一体のものとして行うことにより、地場産物を活用して給食と食に関する指導を実施するなど、教育上の高い相乗効果をもたらしています。（文部科学省「栄養教諭制度の概要」参照）

本学の栄養管理学専攻博士前期課程においては、次の科目を修得することにより栄養教諭専修免許状を取得することができます。

栄養教諭専修免許状取得に必要な科目および単位数

区分	科目	
基礎科目	疫学	医療情報・医療経済
専門基礎科目	食品衛生学特論 食品機能学特論	栄養生理学特論 代謝栄養学特論
専門実践科目	栄養管理学特論 栄養疫学特論 健康行動科学特論 健康・食行動理論	健康栄養エビデンス論 栄養診断学特論 臨床栄養学特論 栄養管理学特別演習

上表の栄養管理学専攻博士前期課程開講科目24単位以上の修得が必要となります。

藤女子大学との大学院間の
単位互換制度を開設しています。

相互の交流および協力の促進と教育の充実を図ることを目的として、単位互換に関する協定を締結しています。これにより、藤女子大学大学院人間生活学研究科において指定の科目の単位を修得した場合には、本学の授業科目に振り替えて単位を授与することができます。

単位互換対象科目（2022年度）

藤女子大学大学院で履修できる科目	左記科目の本学大学院単位振替科目
食品品質学特論Ⅰ 食品品質学特論Ⅲ 公衆栄養学特論Ⅰ	食品機能学特論 健康栄養エビデンス論

博士後期課程

栄養管理学専攻博士後期課程は、人を対象とした人間栄養学の基礎的及び実践的（応用的）研究を通して、ライフステージや環境、あるいは疾病罹患時における生体機能の変化などを的確に把握し、断片的かつ拡散している高度な「栄養」の専門知識を統合理解することで、今日的な栄養学的課題を明らかにし、それらの解決の具体的方策を探り、自立して教育・研究を行い、社会に貢献する人材を育成します。

※長期履修学生制度の利用ができます。

ディプロマ・ポリシー

- ・専門的かつ高度な教育及び研究を通して栄養管理学の先端のおよび実践的な知識を身に付け、保健・医療・福祉に貢献できる。
- ・栄養管理学に関わる課題においてグローバルな視点を持って主体的に探究し、自立して研究を行うことができる。
- ・栄養学の専門分野における課題について、研究をととして課題解決の方法を提示できる。

カリキュラム・ポリシー

- ・保健・医療・福祉に貢献するために、専門的かつ高度な教育と研究方法の学びを通して、栄養管理学の先端のおよび実践的な知識を身に付ける科目として研究方法特論を配置した。
- ・栄養管理学に関わる課題においてグローバルな視点を持って主体的に探究し、自立して研究を行う能力を養うために、基礎系と実践系に体系化し、基礎系栄養管理学特論、実践系栄養管理学特論を配置した。
- ・栄養学の専門分野における課題について、研究を博士論文としてまとめ、課題解決の方法を提示できる能力を養うために、基礎系栄養管理学特別研究と実践系栄養管理学特別研究を配置し個別指導体制の充実を図る。加えて、リサーチ・ループリックを導入し、年に2回、学生の自己評価と主任指導教員と副指導教員の評価をすり合わせることで、改善点や課題を明確にする機会を設ける。

カリキュラム

区分	科目	
共通	研究方法特論	
基礎系栄養管理学分野	基礎系栄養管理学特論	基礎系栄養管理学特別研究
実践系栄養管理学分野	実践系栄養管理学特論	実践系栄養管理学特別研究

〈修了要件〉18単位以上



働きながら学ぶことが出来る環境に感謝しています

大学の助手として勤めていた時、学生をサポートする上でもっと専門的な分野を勉強したいと思い、天使大学大学院栄養管理学専攻博士前期課程に入学しました。長期履修制度を活用し、3年で修了しました。本来であれば、一度退職し、リセットした上で本格的に学ぶというスタイルが理想かもしれませんが、それが叶わない状況、また、どうしても仕事を続けたかった自分にとって、働きながら学べる環境は魅力でした。

そして、3年後に博士後期課程に進み、現在は「北海道産長芋に含まれるプロテアーゼに関する研究」に取り組んでいます。道産食品の代表的な品目である長芋は、漢方などでも注目されている食材ですが、たんぱく質の分解酵素における効果については、科学的根拠は得られていないため、その生化学的諸性質を明らかにし、それをどう活用するかについて研究しています。

現在の仕事は、農学系の大学講師として、農畜産物の利用についての講義や実習を行っています。商品開発においては「健康志向」であることが求められています。管理栄養士として時代に合った消費者のニーズに応えられる提案をし、学生の教育・研究に繋げていきたいと思っています。

在学生

栄養管理学専攻
博士後期課程 3年次
（天使大学大学院看護栄養学研究科
栄養管理学専攻博士前期課程 修了）
※酪農学園大学農食環境学群循環農学類に勤務

本課程におけるこれまでの論文テーマについては15ページをご覧ください。

論文テーマ（一部抜粋）

看護学専攻 修士課程
修士論文コース
成人看護学領域 (2019年度～) - 手術を受けた頭頸部がん患者の社会復帰に向けた生活体験の径路 - 就労可能年齢にある進行大腸がん患者の診断時から初回治療開始前における就労に関する体験 精神看護学領域 (2022年度～) - 看護師長が行うラインによるケアの実態とケアの促進に影響を及ぼす要因の検討 公衆衛生看護学領域 (2015年度～) - 養護者による高齢者虐待の発生予防に関する市町村保健師の認識とその取組との関連 - 中堅期にある保健師の地域を活動の対象と捉える理解とそれに影響する経験 1歳6か月児健康診査にて精神発達が要経過観察となった2歳児をもつ母親の「育てにくさ」の認識
高度実践看護師コース
ホスピス緩和ケア看護学領域 (2015年度～) - 終末期がん患者の「食への思い」を支えるための緩和ケア病棟看護師の判断 - 在宅で膵臓がん患者を看取った家族介護者の体験 - 終末期がん患者の在宅移行を支援する病棟看護師の困難感 - 終末期がん患者の家族介護者が在宅での看取りを意思決定していく過程～最期の場所を決めずに在宅療養を開始した事例～ - 外来化学療法を受けながら就労を継続する壮年期男性造血器腫瘍患者の体験 老年看護CNS学領域 (2022年度～) - 病棟看護師による高齢患者の聴覚評価の実態
保健師コース (2019年度～)
- 就労している中高年女性の加齢に対する適応 - 共働き世帯における父親の幼児期後期の子どもの食への関わりの実態とその関連要因 - 壮年期にある潜在性結核感染者の内服の継続における体験 - 高年初産の乳児をもつ母親の育児における日常の出来事への対処 - 全身性エリテマトーデス (SLE) 女性療養者の療養と育児における体験 - 在日中国人女性の子育てを通した親としての発達 - 新型コロナウイルス感染症に伴う活動制限下での後期高齢者の生活 - 北海道胆振東部地震後の高齢者の災害の知識・意識とそなえの関連

栄養管理学専攻

博士前期課程 (2013年度～)
- マタタビの機能性に関する研究 - 血糖値上昇抑制に寄与する食品成分に関する研究～とくに北海道産素材に注目して～ - 北海道産サルナシの果実に含まれるシステインプロテアーゼに関する研究 - 食生活とメンタルヘルスの関連性 - マラソンによる好中球増加とマイオカインの動態 - 北海道内の高齢者施設における嚥下食対応に関する研究—高齢者施設勤務管理栄養士・栄養士を対象とする実態調査— - 保育所における食物アレルギーの対応に関する研究～保育所における食物アレルギー対応食の実態及び給食責任者の意識調査～ - 病院給食提供業務における問題分析と管理栄養士の給食運営能力向上のための検討—ISM法による階層構造図の構築とMICMAC分析による解釈— - 糖尿病患者における概日リズムと疾患コントロールの関連 - 低アミロース米を用いた嚥下用米粥ゼリーの物性に関する研究 - 健常者における夕食のみの低炭水化物食の影響 - 看図アプローチを活用した食に関する指導の教材開発・授業開発 - 統合失調症入院患者における栄養状態と身体計測の有用性についての検討 - 地方在住高齢者の生活習慣病重症化予防における訪問栄養食事指導の効果検証 - 若年女性における体格と代謝に関する探索的研究
博士後期課程 (2010年度～)
- ヒトでの食後熱産生と褐色脂肪組織 - メタボリックシンドローム危険因子からみた食行動変容の構造と病態改善の関係 - 就学前の子どもを育てる母親に対する継続食育教室の検討 - ハスカップ茶の創製とその飲用によるストレス軽減並びに自覚的睡眠感の改善 2型糖尿病患者に対するトランスセオレティカルモデルに基づく栄養指導効果 - 腎移植患者における食事摂取量等の実態と栄養指導上の課題
論文提出学位論文 (2013年度～)
- ヒト褐色脂肪組織でのエネルギー消費と体脂肪に対する天国の種抽出物摂取の効果 - 我が国の乳牛および肉牛におけるリステリア菌の疫学的研究 - ヒト褐色脂肪組織の体脂肪調整への関与と黒ショウガ抽出物による活性化に関する研究 - 運動と食行動変容支援による体力とメタボリックシンドロームの改善～天使健康栄養クリニックにおける実証研究～

教員紹介

公式ホームページをご覧ください。

看護学専攻 修士課程 	栄養管理学専攻 博士前期課程 	栄養管理学専攻 博士後期課程 
---	---	---

働きながら大学院に通いたい方へ

看護栄養学研究科では大学院設置基準第14条の「教育方法の特例」を適用し、職業を有しながら大学院の教育課程を履修できるよう、一部の科目で平日夜間及び土曜日の科目開講を行っています。
また遠隔地の学生へ配慮して、遠隔授業も一部の科目で実施しています。
さらに必要があれば長期履修学生制度 (17ページ) を活用することもできます。

就職先等 (2012年度～ 一部抜粋)

看護学専攻 修士課程

修士論文コース

成人看護学領域

・天使大学 ・札幌保健医療大学

精神看護学領域

・札幌西円山病院 ・旭山病院

公衆衛生看護学領域

・札幌市 ・厚真町 ・北海道立子ども総合医療・療育センター

高度実践看護師コース

ホスピス緩和ケア看護学領域

・札幌厚生病院 ・東札幌病院 ・札幌禎心会病院 ・ホームケアクリニック札幌 ・がん研有明病院
・大阪国際がんセンター ・KKR札幌医療センター ・札幌清田病院

老年看護CNS領域

・札幌西円山病院 ・札幌徳洲会病院

保健師コース

・北海道 ・札幌市 ・伊達市 ・当別町 ・洞爺湖町 ・南富良野町 ・清水町 ・中頓別町 ・江別市 ・神奈川県平塚市
・朝日新聞健康保険組合 ・北海道結核予防会 ・西円山病院 ・KKR札幌医療センター ・north-ACT

栄養管理学専攻

博士前期課程

・旭川市 ・北海道教育委員会 (栄養教諭:道内小・中学校等) ・天使大学 ・藤女子大学 ・酪農学園大学 ・北海道文教大学
・医療法人 愛全会 ・NTT東日本札幌病院 ・北星病院 ・栗山赤十字病院 ・石狩ファミリアホスピタル
・特別養護老人ホーム暢寿園 ・株式会社明治 北海道支社 ・札幌産科婦人科病院

博士後期課程

・藤女子大学 ・天使大学 ・JCHO仙台病院

※教育課程の変更により、看護学専攻内の名称を新しいものとしています。

長期履修学生制度

職業を有する等の事情により、標準の修業年限で大学院の課程を修了することが困難な場合、標準の修業年限を超えて計画的に教育課程を履修するための制度です。

対象者

職業を有する等の事情により、標準の修業年限での大学院の教育課程の履修が困難な院生が対象です。ここで言う、「職業を有する等」とは、仕事（正規雇用、非正規雇用などの雇用形態を問わない就業）や家事・育児・介護などの事情により、フルタイム学生としての修学が困難な状況にあることを言います。

看護学専攻および栄養管理学専攻（博士前期課程・博士後期課程）いずれも対象となります（ただし、保健師コースは対象となりません）。

修業年限

〔修士課程および博士前期課程〕 3年または4年

〔博士後期課程〕 4年、5年、6年から選択

授業料

〔修士課程および博士前期課程〕

規定の年間授業料等（授業料・施設設備費・実験実習費）の2倍の額を、許可された履修期間で除した額を年度ごとに納入する。

〔博士後期課程〕

規定の年間授業料等（授業料・施設設備費・実験実習費）の3倍の額を、許可された履修期間で除した額を年度ごとに納入する。

「長期履修学生制度」を利用した納入例

栄養管理学専攻（博士前期課程）の合格者で、長期履修学生制度を利用し、「4年」の履修期間が認められた場合（カッコ内の金額は、天使大学・天使女子短期大学卒業生の場合）

（ 修了までに必要な授業料等 980,000円/年（880,000円/年）×2年間=1,960,000円（1,760,000円）
（ 長期履修学生制度を利用した場合の年間授業料等 1,960,000円（1,760,000円）÷4年間=490,000円/年（440,000円/年） ）

	種別		入学手続時	後期	年額合計
初年度納入金	学納金	*入 学 金	150,000 (0)	—	150,000 (0)
		授 業 料	150,000 (150,000)	150,000 (150,000)	300,000 (300,000)
		施設設備費	50,000 (25,000)	50,000 (25,000)	100,000 (50,000)
		実験実習費	45,000 (45,000)	45,000 (45,000)	90,000 (90,000)
	*同窓会費		—	50,000 (0)	50,000 (0)
	合計		395,000 (220,000)	295,000 (220,000)	690,000 (440,000)

(単位:円)

- 1.カッコ内は天使大学・天使女子短期大学卒業生の納入額です。
- 2.*印は初年度のための納入です。
- 3.年額を一括納入することができます。

「長期履修学生制度」の利用を希望する場合の手続きについて

・申請手続きは合格後に行います。希望者は、合格通知書に同封する「長期履修学生申請書」、「長期履修計画書」に必要事項を記入の上、期日までに提出してください。

・本研究科による審査の結果、長期履修が認められた場合、その旨を連絡します。その後、指示にしたがって「授業料等」を納入してください。長期履修を希望する場合、その審査結果の連絡を受けるまでは、「授業料等」を納入しないでください（「入学金」は期日までに納入してください）。

学費・奨学金 本学卒業生の学費が減免されます

納入金

看護学専攻（修士課程）入学者

(単位:円)

種別	入学手続時	後期	年額合計
*入 学 金	150,000 (0)	—	150,000 (0)
授 業 料	480,000 (340,000)	480,000 (340,000)	960,000 (680,000)
施設設備費	0 (0)	0 (0)	0 (0)
実験実習費 保健師・高度実践看護師コースのみ	25,000 (25,000)	25,000 (25,000)	50,000 (50,000)
*同 窓 会 費	—	50,000 (0)	50,000 (0)
合 計	655,000 (365,000)	555,000 (365,000)	1,210,000 (730,000)

- 1.カッコ内は天使大学・天使女子短期大学卒業生の納入額です。
（入学金、授業料、同窓会費を減免）
- 2.*印は初年度のための納入です。
- 3.年額を一括納入することができます。
- 4.実験実習費の納入は、保健師・高度実践看護師コースの学生のみです。
- 5.長期履修学生制度の適用を希望する方は17ページを参照してください。
- 6.上記のほかには保険料等が追加される場合があります。

栄養管理学専攻（博士前期課程）入学者

(単位:円)

種別	入学手続時	後期	年額合計
*入 学 金	150,000 (0)	—	150,000 (0)
授 業 料	300,000 (300,000)	300,000 (300,000)	600,000 (600,000)
施設設備費	100,000 (50,000)	100,000 (50,000)	200,000 (100,000)
実験実習費	90,000 (90,000)	90,000 (90,000)	180,000 (180,000)
*同 窓 会 費	—	50,000 (0)	50,000 (0)
合 計	640,000 (440,000)	540,000 (440,000)	1,180,000 (880,000)

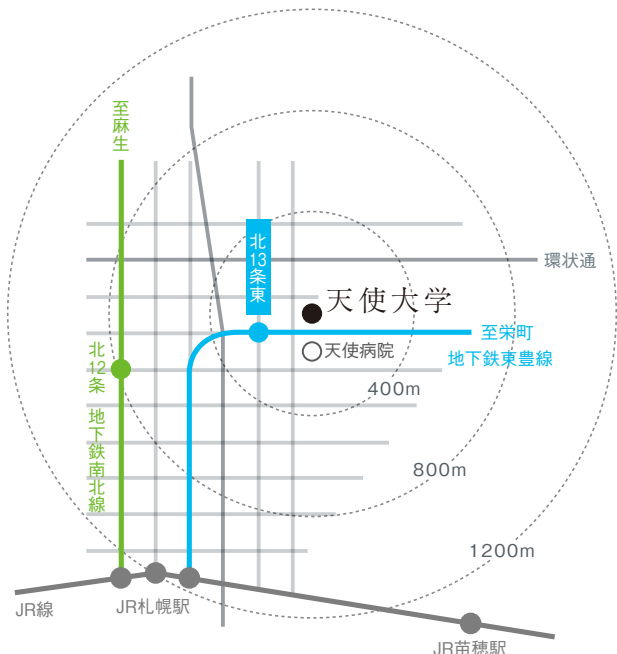
- 1.カッコ内は天使大学・天使女子短期大学卒業生の納入額です。
（入学金、施設設備費、同窓会費を減免）
- 2.*印は初年度のための納入です。
- 3.年額を一括納入することができます。
- 4.長期履修学生制度の適用を希望する方は17ページを参照してください。
- 5.上記のほかには保険料等が追加される場合があります。

奨学金

(単位:円)

種類		月額／年額	金額	備考
日本学生支援機構奨学金	第一種	月額	修士課程 50,000または88,000 博士課程 80,000または122,000	無利子貸与
	第二種	月額	50,000／80,000／100,000／130,000／150,000	有利子貸与 利率は0.040%（2022年3月現在）
天使大学貸与奨学金		月額	30,000または50,000	無利子貸与 経済的に修学困難な者に対し貸与
天使大学同窓会給付奨学金		年額	100,000	経済的に非常に困窮し、成績優秀な者に対し給付

- ※1:2023年度に向けて奨学金制度を見直しています。入学後あらためてご確認ください。
- ※2:上記の他にも、地方自治体や各種団体等の奨学金があります。必要な場合には各自で出身地の都道府県や市町村の教育委員会等に問い合わせてください。
- ※3:奨学金に関する詳細は、本学学務課学生担当までお問い合わせください。Tel:011-792-9204（直通）



Access [交通アクセス]

[札幌駅から]

- ◆地下鉄東豊線「北13条東」駅1番出口より東へ徒歩3分
- ◆地下鉄南北線「北12条」駅2番出口より東へ徒歩15分
- ◆JR札幌駅北口からタクシーで5分 徒歩20分

[苗穂駅から]

- ◆タクシーで8分 徒歩30分

[新千歳空港から]

- ◆JRで札幌駅まで37分

大学院 看護栄養学研究科

会場: 天使大学 | 対象者: 本学への受験を希望する方

看護学専攻

オープンキャンパス

●保健師コース

6.10^土

8.5^土

個別相談会

●保健師コース(9/23のみ)

●修士論文コース

●高度実践看護師コース

6.10^土

9.23^土

栄養管理学専攻

説明会・個別相談会

●博士前期課程

●博士後期課程

8.18^金

[午前]

※事前申込みをお願いします。
詳細はホームページをご覧ください。
このほかに平日の個別相談についても受け付けます。



※コロナ感染状況により、変更(中止延期等を含む)する場合があります。お知らせはホームページにて行います。



天使大学

看護栄養学部 / 看護学科・栄養学科

大学院 / 看護栄養学研究科

看護学専攻

栄養管理学専攻

助産研究科 助産専攻(専門職学位課程)

〒065-0013 北海道札幌市東区北13条東3丁目1番30号

tel.011-741-1051 fax.011-741-1077

<https://www.tenshi.ac.jp>

